

(4) 「地球環境問題への取組」

がみんなの力で行われている / 10年後にめざす地球環境保全のあり方



○私は、震災に並ぶ風力発電設備を横目に北九州エコタウンを後にした。こうした新エネルギーを利用した都市づくりが、県内の多くのまちで進められていて、今や新エネルギーは大切な電力の供給源となっている。

○私が事務所にもどってみると、県の地球温暖化防止活動推進センターから紹介された省エネアドバイザーが、会社のみんなに省エネ方法のアドバイスをしているところだった。アドバイザーは、県内のいろいろな事業所から引っ張りだこだという。

○仕事が終わりと、私は、低公害バスに乗って家に帰った。家に着くと、私はエアコンをつけた。最近エアコンを最新の省エネタイプにかえたので、省エネナビ（屋内用のエネルギー使用量モニター）に示される電力消費金額のメーター数値がその分小さくなっている。効果が目に見えると省エネしやすいものだ。我が家で環境家計簿を10年間つけ続けているのもそれが理由だ。

○寝る前にみたテレビでは、京都議定書で約束した2012年度までの日本の温室効果ガス削減目標6%をなんとか達成できたというニュースが報じられていた。しかし、地球温暖化がそれで完全にとまるわけではない。この目標達成を第1ステップにして、我が家でも取組を続けていこう。と私は思った。

(5) 「各主体の自主的な環境保全の取組とネットワーク化」

がみんなの力で行われている / 10年後にめざすわたしたちの環境学習や環境保全活動の姿

○次の日の午前中、私は会社で、5年前に取得した環境管理の国際規格ISO14001の本年度の更新のため、各部署を回って環境への取組を確認した。取組は完全に定着しているようだ。今日の結果をまとめ、さっそく環境報告書の作成に取りかかろうと思う。そういえば、おとなりの従業員10人の会社も、中小企業向けの環境管理システムを使って取組を行っていて先週、取組の結果を環境報告書としてホームページで公開していた。

○妻は、半年前から取り組んでいた植林ボランティア団体のホームページが完成し、今日、県の環境ホームページに登録した。パソコンから県のホームページにアクセスしてみると、簡単に自分たちのホームページにたどりつく。これなら、多くの人に自分たちの活動を知ってもらえる。と妻は仲間たちと喜び合った。



○午後から私は、太宰府市で開かれているNPOの主催するイベントに参加した。100以上の民間団体や事業者が参加していて、いくつかのテーマに分かれ、各団体が協働しての活動方針を話し合った。福岡県内での環境を守る自主的取組とパートナーシップ※はますます広がり深まりを見せている。

○福岡県の環境は、21世紀が始まったばかりの10年前に比べ著実によくなってきた。これからもよりよい環境に向かって、県内に暮らすみんなの力を合わせて前進していこう。

詳しくは計画書または県のHPをご覧ください